

## モデルプログラム A-2 外国人児童生徒等教育の課題 ー子どもたちの文化間移動とライフコース（体験談を聞く）ー

ねらい	日本への文化間移動を経験した当事者の体験談を聞いて、学齢期に文化間移動をすることに対する理解を深める。また、その理解をもとに学校教育における多文化共生教育の可能性について検討する。
対象	<input checked="" type="checkbox"/> 教師を目指す学生（教員養成課程他） <input checked="" type="checkbox"/> 日本語教育を学ぶ学生 <input checked="" type="checkbox"/> 現職日本語指導担当教員 <input checked="" type="checkbox"/> 現職一般教員 <input type="checkbox"/> 管理職 <input type="checkbox"/> 指導主事 <input checked="" type="checkbox"/> 日本語支援員／母語支援員
外国人児童生徒教育・日本語指導の経験	<input checked="" type="checkbox"/> 経験なし <input checked="" type="checkbox"/> 1年目 <input checked="" type="checkbox"/> 2-4年 <input type="checkbox"/> 5-9年 <input type="checkbox"/> 10年以上
高めたい資質・能力	<input type="checkbox"/> 捉える力（子どもの実態把握） <input checked="" type="checkbox"/> 捉える力（社会的背景の理解） <input type="checkbox"/> 育む力（日本語・教科の力の育成） <input checked="" type="checkbox"/> 育む力（異文化間能力の涵養） <input type="checkbox"/> つなぐ力（学校作り） <input type="checkbox"/> つなぐ力（地域作り） <input type="checkbox"/> 変える／変わる力（多文化共生社会の実現） <input type="checkbox"/> 変わる力（教師としての成長）
主な内容	A 外国人児童生徒等教育の課題
時間	60分
活動形態	<input type="checkbox"/> 講義型 <input checked="" type="checkbox"/> 活動型 <input type="checkbox"/> フィールド型 <input type="checkbox"/> 実習
流れ（・項目）	活動（◇活動の工夫）
1. 学齢期の子どもの文化間移動に伴う課題について基本的な情報を確認する。（10分） ・グローバル化と外国人児童生徒等(A) ・文化間移動とライフコース(A)	1. 学齢期の文化間移動を経験したゲストスピーカーの体験談を聞く前に、理解を深めるために必要な次の点について確認する。 ・「外国人児童生徒等」の歴史的・社会的背景 ・子どもの文化間移動をライフコースとして捉えることの重要性 「成長・発達」「アイデンティティ」「社会参加と自己実現」
2. 文化間移動を経験した人の体験談を聞く。（30分） ・文化間移動とライフコース(A) ・子どもの文化適応(D) ・学校の指導体制(C)	2. ゲストスピーカーとして学齢期に文化間移動をした経験を持つ人（元外国人児童生徒）の体験談を聞き、文化間を移動することへの理解を深める。 ◇体験談のトピックとして、以下のようなものを例示する。 ・来日直後の戸惑いや友達関係など ・日本語をどのように学んできたか、学校での勉強について ・自分の将来像を、いつ、どのように描いてきたか ・これから、何に力を注ぎたいか。
3. 体験談から気づきについて話し合う。（10分） ・社会的正義・公正性(A)	3. ゲストスピーカーの体験談から、外国人児童生徒等の教育において重視したい点について、意見交換をする。 1) 体験談から気づいたこと、考えたことをメモする（体験談を聞きながら） 2) グループで、1)のメモを紹介し合う。 3) ゲストスピーカーの体験から「国内の外国人児童生徒等教育」の課題と可能性を整理する。
4. 学校等での教育において文化的多様性をどう意味づけられるか検討する。（10分） ・多文化共生教育(A)	4. 3の話し合いをもとに、「外国人児童生徒等教育」が学校教育の多文化共生の推進について、どのような可能性をもつかを検討する。 ・学校の児童生徒・教員が多様な文化に触れることの価値 ・多様性に関わった学校作りにおける意義 <span style="float: right;">等</span>

備考	体験談には、「C 学校の受け入れ体制」「D の文化適応」「E 母語・母文化・アイデンティティ」「F 言語と認知の発達」等に関連する内容が含まれると考えられる。活動3の体験談からの気づきの「問い」の工夫によって、C、D、E、Fの内容項目を詳しく扱うことが可能である（時間を長くして）。
----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------